



鹿児島日英協会 ニュースレター 第6号
 The Japan British Society of Kagoshima
 Newsletter No.6 Feburary 2017

会長ごあいさつ ～ニュースレター第6号発行に寄せて～

厳寒の候 皆様にはますますご清祥のことお喜び申し上げます。
 当協会の諸活動に関しましては平素よりご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

「鹿児島日英協会ニュースレター」第6号を発行いたしましたのでお届けいたします。ご覧いただけますように、当協会では理事会並びに青年部の企画・運営のもと、主催特別企画、年次総会・講演会・交流会などを通じた日英交流の促進を図っております。今年から新たに青年部主催の講演と英語によるディスカッションを交えた『Bimonthly 英国研究会』もスタートいたしました。皆様のご参加をお待ちしております。

今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

鹿児島日英協会会長 酒瀬川純行（志学館大学人間関係学部長・教授）

【第25回鹿児島日英協会講演会・公演・懇談会の様子】



目次

- ① 平成28年度理事会・第25回鹿児島日英協会総会・講演会・懇談会のご報告・・・p.2-4
- ② 『鹿児島日英協会と青年部』・・・p.4
- ③ 事務局より・・・p.5
- ④ ロンドン語学留学を経て【1】・・・p.5-6
- ⑤ ロンドン語学留学を経て【2】・・・p.6-7
- ⑥ イギリスひとくちメモ・・・p.8

① 平成 28 年度理事会・第 25 回鹿児島日英協会総会・講演会・懇談会のご報告
(平成 28 年 10 月 29 日(土) 開催、於：鹿児島県医師会館)
[平成 28 年度：平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日]

総会に先立ち、理事会が行われ、平成 27 年度の事業内容、収支決算、監査結果、平成 28 年度事業計画(案)と予算(案)についてご報告、承認頂きました。主な新事業は、会員の皆様及び学生、一般を対象とした『My Days in Britain Essay Contest』と青年部主催事業の『Bimonthly 英国研究会』並びに英国体験等に関する鹿児島の日英協会主催『エッセイコンテスト』です。『Bimonthly 英国研究会』に関しては早速、第 1 回(当協会酒瀬川純行会長による『英国このごろ～政治と食と庭園と』)を平成 29 年 1 月 29 日(日)に開催しました。内容につきましては次号で報告いたします。



平成 28 年度理事会・第 25 回鹿児島日英協会総会・講演会・懇談会にお越しいただいた理事の皆様、ならびに会員の皆様に心より感謝申し上げます。引き続き、ご協力とご理解の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、次回の第 26 回当協会総会の日程を平成 29 年 10 月 21 日(土)に決定しております。(詳しくは 5 ページをご覧ください。)多くの会員の皆様にご出席くださいますよう、お待ち申し上げます。



理事会・総会後は全日本空輸株式会社鹿児島支店長 濱田秀樹氏をお招きし、「故郷 鹿児島におもうこと(英国交流を通じ)」と題して、近年の鹿児島と英国の交流事業や英国での取り組み等について講演を頂戴しました。濱田氏の熱い語りを皆さん熱心に拝聴され、講演後の質疑応答では積極的に質問される会員の方や学生さんがおられ、充実した時間を共有

することができました。

貴重な講演をしてくださいました濱田秀樹様に深く感謝申し上げます。



講演会の後、懇談会と公演が行われました。毎年お世話になっている株式会社ベルグ様（山形屋グループ）のご協力の下、美味しい料理と長沢ワインを頂きました。また、今回も理事の鎌田善政様より美味しい焼酎を頂戴いたしました。お心遣いに心より感謝申し上げます。

懇談会の中では、副会長の永田行博様の令夫人 永田斐子（筑紫流師範永田歌千斐）様に琴の演奏を頂戴しました。曲目は宮城道雄作曲「さらし風手事」、筑紫歌都子作曲「月光幻想曲」でした。



公演の間は、美しい琴の音色に聞き入り、心地よい時間を過ごすことができました。永田様は現在ホテル等で演奏活動中。永田様の今後のご活躍をお祈りしております。

長時間にわたり最後まで参加して下さった皆様に、深く感謝申し上げます。



鹿児島日英協会事務局長 川崎琴美

【講演会・懇談会・公演の様子】

①



②



③



④



② 『鹿児島日英協会と青年部』

鹿児島日英協会は、江戸末期の薩英戦争や薩摩藩留学生英国派遣以来、歴史的にもつながりの深い英国とのより一層の友好親善を図るために、鹿児島の学術・文化・経済界等に広く呼び掛けかけ1992年に設立された。

鹿児島の医学近代化に貢献した英医ウィリアム・ウィリスに関する故佐藤八郎氏（鹿児島大学名誉教授、同協会初代会長）の研究が縁で、サー・ヒュー・コータツツィ元駐日英国大使の提案を受けてのことだ。

その後、駐日英国大使をはじめ多くの外交官や著名な英国研究家等による講演会、スコットランドのバグパイプ、アイリッシュやケルト音楽の演奏会など活動を広げてきた。2013年には「薩英戦争150周年記念英国視察旅行」も実施し、薩摩藩留学生やエラブユリの「発見者」アイザック・バンティングゆかりの地を訪問した。

だが鹿児島日英協会には課題が一つあった。会員の募集と維持、特に若者の加入促進と彼らへの「つなぎ」である。そこで一昨年、英国留学・滞在経験のある教え子たちに声をかけると、すぐさま20人近くの賛同者が集まり青年部が設立された。

気鋭の青年部会長のもと2014~15年には鹿児島市の明治維新150年カウントダウン事業「薩英文化祭」に協力団体として参加。英国発祥の球技ローンボールズの紹介の手伝いやハロウィーン・グッズ作り、英国留学・訪問体験発表会などを行った。

昨年は副会長が「英国留学生派遣150周年記念薩摩スチューデント派遣事業」の一員に選ばれ渡英。今年春には広報部長によって同協会ホームページがリニューアルされた。夏には協会主催の音楽鑑賞会「日英音楽の夕べ」運営にも積極的に協力してくれた。活動が広がり、会員も増えた。

意欲と情熱に燃える青年部の、実に頼もしい活躍である。若者はいつも「時代」と「次代」の担い手だ。今後の更なる活躍が期待される。

（平成28年9月14日（水）付け南日本新聞『南点』掲載記事）

志学館大学教授（鹿児島日英協会会長） 酒瀬川純行

③ 事務局より

2ページでご案内の通り、今年度から『Bimonthly 英国研究会』を開催します。

鹿児島日英協会青年部が実施する『Bimonthly 英国研究会』では、毎回英国と深い関わりを持つ日・英の講師を招いて、英国の歴史や文化 (gardening, country houses, museums/galleries, pubs, tea, sports, etc.)、英会話等をテーマに隔月実施いたします。60分間は英国（と鹿児島）に関するトーク、その後30分間は英語による又は英語を交えたディスカッションを行います。会員はもちろんのこと、会員以外のどなたでも参加でき、参加無料です。ふるってご参加ください！

第2回『Bimonthly 英国研究会』の日程が決定しました。

日時：2017年3月26日（日）10:00～11:30

場所：鹿児島市勤労者交流センター（よかセンター）

講師：Daniel Phillips（ダニエル・フィリップス）氏（青年部会員、英語講師、元ALT、英国出身）

④ ロンドン語学留学を経て【1】

私は大学時代に2度英国へ行き、ホームステイを経験しました。

読書が好きでしたので、子どもの頃に夢中になった物語が生まれた国の歴史の舞台が今、目の前にあるということに感動し、憧れていた英国への訪問が実現したことに喜びを感じていました。しかし、当初、慣れない環境に緊張してしまい、何事に関しても気持ちと対応が受け身になっていました。そのために苦い経験もしました。でもそれ以上に見るものすべてが新鮮に映りました。異文化に触れることが楽しくて、毎日が充実していました。語学学校では世界中から人が集まり、意思疎通には英語を話すしかありませんでしたので、話す訓練になりました。そして、他国の学生の、とにかく話してみよう、という積極的な姿勢から、考え過ぎるよりトライしたほうが良い、ということ学びました。

帰国後は、『英国熱』とでも呼んだら良いかもしれませんが、私の中で興味と好奇心が膨らみました。美味しかった英国の料理のレシピを探して作ったり、英国について調べたり、新たな楽しみを持ちながら英語の勉強をするようになりました。

2度目は卒業前でした。1度目の渡英で新しい世界を知ることの楽しさに私は魅了されていました。ミュージカル観賞、ホテルでの優雅なアフタヌーンティー、アンティークマーケットで買い物など色々体験しました。以前お世話になったホスト





マザーにも再会しました。素敵なガーデンデザイナーで、笑顔で迎えてくれました。朝食は必ず自家製のジャムとカリッと焼いた薄切りトーストに紅茶が準備しており、夜にはアップルクラムなどのデザートを作っていました。日本では珍しい食材や料理について分かりやすく説明してくれました。始めの頃は、その素材の味を生かしたシンプルな英国料理に戸惑いました。でも、野菜を使った身体に良い料理だ

った事とホストマザーの説明がありがたく、今日はどんな料理かな？と楽しみにしていました。知らない料理ばかりでしたのでレシピを尋ねノートに書き留めていました。ガーデニングと料理という共通の興味があり、話が合うことがうれしかったのを覚えています。また、余計な物がなく、美しい実用品だけが置いてある cosy room（居心地の良い部屋）は私が理想とするシンプルライフのお手本です。

語学学校の授業以外では、時間が許す限り、ロンドンの博物館や美術館、名所を巡りました。もっと知りたい、という好奇心を刺激され、あっという間に時間が過ぎてゆきました。

週末の郊外研修旅行では、ケンブリッジやオックスフォードを訪れました。趣のある石畳の小道、歴史ある城や教会、絵画やアンティークの調度品を見ては何百年も昔の人々の生活を想像しました。英国の人々が歴史を大事にしてきたからこそ、私たちが目にすることが出来るのだと思うと、何でも新しい方が良い、という考え方は改めるべきではないか、と思いました。

学生時代にこのように貴重な経験ができたことは、ホストファミリーの皆さんや先生方のおかげと、深く感謝しています。大切な思い出として心の引き出しにしまっており、今でも時々懐かしく思い出します。

鹿児島日英協会青年部 市蘭明日香（旧姓：林）

⑤ ロンドン語学留学を経て 【2】

中学時代にテニスに没頭し、いつか聖地 Wimbledon で試合観戦したいとイギリスに憧れた。志学館大学へ入学した理由のひとつは、英国留学の機会があることだった。2009年、大学2年生の2月に夢が実現。庭園には濃淡の紫と白のクロッカスの絨毯、街中では早咲きのスノードロップが迎えてくれた。ひょっこりリスが現れたならばカメラを持って追いかけて回した。通りのあちこちに芝の公園があり、石

像や碑が歴史を語る。引率の酒瀬川教授はガイドの途中、花や樹木、鳥の名も多く教えてくれた。偉人のゆかりある場所には名前と生存の年代などを記したプレートがかけられている。博物館や美術館は無料で入館でき、かつての貴族の屋敷も見学できた。歴史や芸術への触れやすさ、既存のものを生かす文化に感心した。

留学中は時差ボケの為か、毎朝5時ごろに目が覚めた。共用の洗面所と部屋を歩き来しホストファミリーの迷惑になっているのではと、教授おすすめのセンテンスを使う。“*I'm an early bird. If I've disturbed you, I'm so sorry.*”（私は早起き鳥です。もし邪魔していたらごめんなさい。）皆気にしないでと笑顔で応えてくれ、安心した。ホストマザーはよく“*You will be fine.*”と言って励ましてくれた。恵まれた環境で英国留学は最高の思い出となった。

イギリスの食文化には批判が多いが、アフタヌーンティーは格段の人気だ。しっとりとしたスコーンを頬張ると、ああ英国に来たのだと感動する。ドレスコードに従いドレスアップして訪れたホテル内の席では、ピアノの生演奏まで味わえた。紅茶をゆっくりと飲み干せば優雅な気分になるが、誰かと共に会話を楽しむひとときが幸福な気持ちにさせてくれるのだろう。教授の友人である水彩画家の Judy さん宅を訪ねた折は、手作りのサーモンのサンドイッチに果物と紅茶、さらにはチョコレートケーキまで焼いてもてなしてくださった。Judy さんは町の小さな教会や風車のある景色、そして北海を見渡せる海辺へ案内してくれた。そこに吹く風は北極からくるといふ。平面な世界地図を立体的に覚えて興奮した。帰りのバスの中、窓越しに見た空がやわらかなピンク色をしていて、Judy さんの描いた絵が重なった。

2015年5月、イギリス再訪が叶う。新婚旅行で主要な観光スポットを中心に巡った。留学時の地図や持ち物リスト、キーフレーズ集が役立った。なんだか身近になった英国である。いつか友人を訪ねて行く日ができたらなと思ひ新たに、いよいよ英語を勉強したい。

写真1：Syderstone, Norfolk にある Judy さん宅でアフタヌーンティー

写真2：新婚旅行で再訪した Wimbledon にて

【写真1】



【写真2】



⑥ イギリスひとくちメモ

Scotch whisky (スコッチ・ウイスキー)



愛飲者の多いモルト・ウイスキー Glen Fiddich 今も人気のブレンディッド・ウイスキー Old Parr

世界中に多くの愛飲家のいるウイスキー。製法が英国スコットランドに伝わったのは遅くとも12~13世紀という。もともと地元ケルト系民族のゲール語で *uisge beatha* (‘water of life’ 命の水) と呼ばれ、そこから *whisky* という言葉が生まれた。

主な種類は、モルト(大麦麦芽のみが原料)、グレーン(大麦麦芽以外の穀類の主原料に大麦麦芽を加えたもの)とブレンディッド(モルトとグレーンをブレンドしたもの)。生産・流通量は穏やかな味わいのブレンディッドが多いが、個性があり風味豊かなモルトも愛飲者が多い。

ハイランド、ローランド、スペイサイド、アイラなど6カ所の蒸留地域がある。

(文責：酒瀬川純行)

～ 今後の予定 ～

平成29年度理事会・総会・講演会・懇親会

開催日：2017年10月21日(土)

於：鹿児島県医師会館(鹿児島市中央町8番地1)

【鹿児島日英協会 事務局所在地】

〒890-8504 鹿児島市紫原1丁目 59-1 (志学館大学)

TEL: 099-812-8501 Fax: 099-257-0308

URL: <http://jbsk.jp/> Email: jbskinfo@jbsk.jp